令和７年度　社会福祉法人宇医事業報告

【総括】

特養、短期入所、通所介護、居宅介護支援、ケアハウス、全部門で令和6年度を下回る実績でした。

施設部門においては、特養に退所者が出た場合、次期入所者を短期入所の長期利用者で繋ぐという形で行っておりましたが、特養の退去者が例年以上に多かったことから、短期入所の利用者が次々と特養入所となり、結果として短期入所のベッドがなかなか埋まらないといった状況が１年間を通して続きました。

在宅部門においては、通所介護、居宅介護支援共に、新規利用者は獲得するものの、それ以上に利用者の入院や、有料老人ホームへの入所などで利用者が減り、大きく前年度を下回ることとなりました。ケアハウスにおいても、部屋は埋まっているものの、２人部屋に1人で住まれるケースがあり、人数は減少となりました。

職員の充足状況につきましては、この先、数年の間に定年退職を迎える職員が複数名あることと、その状況になってからの補充対応では現場に混乱を来すこともあり、年間を通して、職員の募集を行いました。現在各部門の人員配置基準を超える人数となっておりますが、将来を見越しての人材確保と働きやすい職場環境づくりを行って行きます。

施設環境におきましてはデイサービスの浴槽からレジオネラ菌が5月と11月に年に２度検出されました。それぞれ1ヶ月間ほどの事後処理を行うこととなりました。 レジオネラが検出されたデイサービスの浴室に加え、特養、ケアハウスの浴室も専門業者に清掃を依頼いたしました。また、行政から専用水道の管理者が必要とのことで、専門的な知識、対応が求められることから、外部委託を行うこととなりました。

その他にも、開設から30年以上経つことから、いろんな箇所から経年劣化や故障が発生している状況です。

1年間を振り返り、物価高騰などの外的な要因はあったにせよ、利用者獲得と入院や退去とのバランスで前年を下回っており、今後は更なる職場環境や業務内容の見直しを行い安定した運営が行えるよう取り組んでいきます。

【事業報告】

1　会務の運営

　法令に準拠した法人運営のため、法人の業務執行の決定等の諮る機関として、適切な時期に理事会・評議員会、監査を開催いたしました。

理事会		
開催回数	開催日　開催場所	決議事項等
令和　7　年度 第 1 回理事会	令和 7 年 5 月 26 日(月) 特別養護老人ホーム 蕉夢苑 2 階会議室	①育児・介護休業等に関する規程の改定について ②給与規程の改定について ③非常勤職員就業規則の改定について ④令和 6 年度事業報告について ⑤令和 6 年度決算報告について ⑥理事候補者の選任議案について ⑦監事候補者の選任議案について ⑧定時評議員会の議案と開催について 報告事項 評議員選任の報告について 社会福祉充実残高の報告について 理事長の職務執行状況の報告について
第 2 回理事会	令和 7 年 6 月 16 日(月) 特別養護老人ホーム 蕉夢苑 2 階会議室	①理事長の選任について
第 3 回理事会	令和 7 年 12 月 15 日(月) 会議省略	①令和 7 年度第一次補正予算について ②評議員会の議案と会議招集について
第 4 回理事会	令和 8 年 3 月 9 日(月) 特別養護老人ホーム 蕉夢苑 2 階会議室	①社会福祉法人宇医会インターネットバンキング利用規程(案)について ②令和 8 年度事業計画(案)について ③令和 8 年度収支予算(案)について ④臨時評議員会の日時及び提案事項について 報告事項 指導監査報告について 理事長の業務執行報告について

評議員会		
開催回数	開催日　開催場所	決議事項等
令和 7 年度 第 1 回 評議員会	令和 7 年 6 月 16 日(月) 特別養護老人ホーム 蕉夢苑 2 階会議室	①育児・介護休業等に関する規程の改定 について ②給与規程の改定について ③非常勤職員就業規則の改定について ④令和 6 年度事業報告について ⑤令和 6 年度決算報告について ⑥理事の選任について ⑦監事の選任について ⑧定時評議員会の議案と開催について 報告事項 評議員選任の報告について 社会福祉充実残高の報告について
第 2 回 評議員会	令和 7 年 12 月 29 日(月) 会議省略	①令和 7 年度第一次補正予算について
第 3 回 評議員会	令和 8 年 3 月 23 日(月) 特別養護老人ホーム 蕉夢苑 2 階会議室	①令和 8 年度事業計画(案)について ②令和 8 年度収支予算(案)について

監事監査　　令和 7 年 5 月 12 日

項目	開催時期・頻度
会務の運営	内部経理監査　毎月実施
運営管理	経営会議　毎月最終金曜日　実施 幹部会議　毎月最終金曜日　実施

2　人事考課

職員育成とキャリアパスの視点を持ち、職員を公正に評価し人事管理を実施いたしました。

項目	開催時期・頻度
人事効果	人事考課評価判定　前期（前年 10 月～3 月）4 月 後期（4 月～9 月）10 月

3　サービス品質

サービスの質の向上、リスクマネジメントの観点から、各種委員会を実施いたしました。

項目	開催時期・頻度
サービス品質	苦情解決委員会　毎月第 1 金曜日 事故再発防止検討員会　毎月第 2 金曜日 感染症・食中毒対策委員会　毎月第 2 金曜日 身体拘束廃止検討委員会　毎月第 3 金曜日 高齢者虐待防止委員会　毎月第 3 金曜日 個人の尊厳・接遇検討委員会　毎月第 4 金曜日 利用者満足度調査（施設部門・在宅部門）6 月 苦情解決第三者委員会　9 月

4　職員研修

職員の資質向上と組織力強化を目指し、研修会を実施いたしました。

項目	開催時期・頻度
職員研修	BCP（災害訓練）（感染症）2 回/年 身体拘束適正化　2 回/年 虐待予防　2 回/年 職員全体研修　奇数月最終金曜日 OJT　職務を通じて随時指導・研修

5 行事

施設の安全管理、地域交流、季節に応じた行事を実施いたしました。

項目	開催時期・頻度
	民生委員来苑しての連携会 9 月 指導監査(社会福祉法人・特養・通所・居宅) 11 月 定期健康診断 2 回/年 4 月・10 月 消防用設備点検 1 回/年 4 月 避難訓練 2 回/年 4 月(夜間想定)・10 月(昼間想定) 消防団懇談会 1 回/年 11 月 定期建築設備点検 1 回/年 10 月 敬老会 9 月 クリスマス会 12 月

生活支援部門

【総括】

特養稼働率100%、ショートステイ月平均利用者16名以上を目標として、特養入所者が退所した際、短期入所の長期利用者を特養入所へ繋ぐ形で待機者支援と空床期間の短縮に努めてきました。しかし、令和7年度は例年以上に特養入所の退所が多く、ショートステイ利用者が特養入所へ移行する状況が続いたことで、短期入所の利用者が減少し月平均10名という結果でした。また、特養においては入院する入所者も多く、空床期間が発生したことが年間稼働率96%という結果に影響したものと考えられます。今後は、入院予防への取り組みに加えて特養入所待機者の確保、ショートステイ新規利用者の確保、関係機関と連携強化を進めてまいります。

科学的介護の推進に関しては、各部署と協力しながら「ＬＩＦＥ」へデータの提出、フィードバックされた結果を踏まえてサービスを提供しております。

次年度は新たな加算取得にも取り組み、サービスの質の向上と安定した施設運営の両立を図りながら、具体的な成果へ繋げていきたいと考えます。

【事業報告】

1　事業報告

	目標	上半期	下半期
目標項目と数値指標	稼働率（利用者1ヵ月稼働率）	（目標）100% （実績）97.9%	（目標）100% （実績）94.7%
目標項目と数値指標	ショートステイ月平均利用者数	（目標）16名 （実績）10.2名	（目標）16名 （実績）9.1名

2活動報告（年間行事・事業・サービスの品質・職員勉強会・研修）

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
4月	消防訓練	LIFE各種データ作成	
5月		LIFE各種データ提出	BCP（災害）訓練・研修 リスクマネジメント研修
6月		アンケート（ホーム・ショート）準備	
7月	福祉出前講座(松合西区)	アンケート（ホーム・ショート）実施 LIFE各種データ作成	BCP（感染症）訓練・研修 認知症の研修
8月	ワークキャンプ	LIFE各種データ提出 アンケート（ホーム・ショート）検討	
9月	敬老会 海の火祭り	アンケート（ホーム・ショート）改善実施	身体拘束 コンプライアンス
10月	消防訓練	LIFE各種データ作成	

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
11 月	小学校への福祉出前講座	LIFE 各種データ提出	BCP（災害）訓練・研修 ハラスメントの研修
12 月	クリスマス会 入所待機者再調査票発送、回収		
1 月	初詣 入所待機者再調査集計	LIFE 各種データ作成	BCP（感染症）訓練・研修 食中毒の研修
2 月	福祉出前講座(桂原地区)	LIFE 各種データ提出	
3 月			身体拘束 高齢者虐待・人権擁護の研修 プライバシー保護の研修
通年	居宅への PR 福祉会への参加 入所判定委員会の実施	入所者常会 処遇検討会 LIFE の活用 生産性向上の取り組み 苑だより作成	

介護部門

【総括】

令和 6 年度は、介護中の怪我や転倒などの事故が多かった為、令和 7 年度は入所者、職員、お互いに達成感が持てるようなケアが提供できるように怪我や事故防止に努めてまいりました。怪我や転倒などの事故の件数は前年度と大きく変わりませんでしたが、その代わりに誤嚥や褥瘡の件数が増え、救急搬送、入院するケースがありました。重度化した入所者が増えたのに対して、職員のリスクマネジメントが十分ではなかった事が要因と思われます。職員研修やマニュアル見直し、確実な情報伝達の仕組み作りなど行い事故防止に努めてまいります。

生産性向上の取り組みについて、ノーリフティングの研修会や移乗用リフトの体験会への参加、他施設の見学、デモ機の使用などを行い、10 月より移乗用リストの使用を開始しました。徐々に定着し職員の負担軽減につながっています。今後は ICT や AI の活用、環境整備などの業務改善を行い質の高いケアが提供できるように努めていきます。

【事業報告】

1　実績報告

	目標	上半期	下半期
目標項目と数値指標	入院者 0(骨折での)	（目標）0 名 （実績）1 名	（目標）0 名 （実績）2 名
目標項目と数値指標	介助中の怪我の減少	（目標）0 名 （実績）4 件 （月平均）	（目標）0 名 （実績）3.3 件 （月平均）

2　活動報告（年間行事・事業・サービスの品質・職員勉強会・研修）

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
4 月	消防訓練	ＬＩＦＥデータ作成 褥瘡計画書作成	介護職会議
5 月			ＢＣＰ（災害）訓練・研修 リスクマネジメント
6 月	健康診断		感染症対策勉強会
7 月	ワークキャンプ	ＬＩＦＥデータ作成 褥瘡計画書作成	ＢＣＰ（感染）訓練・研修 認知症研修
8 月	ワークキャンプ		褥瘡予防勉強会
9 月	敬老会		身体拘束・虐待防止研修 コンプライアンス プライバシー保護研修
10 月	消防訓練・健康診断	ＬＩＦＥデータ作成 褥瘡計画書作成	介護職会議
11 月			BCP（災害）訓練・研修 ハラスメント研修

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
12 月	クリスマス会		感染症対策勉強会
1 月	初詣	ＬＩＦＥデータ作成 褥瘡計画書作成	ＢＣＰ（感染）訓練・研修 食中毒研修
2 月			褥瘡予防勉強会
3 月	花見		身体拘束 高齢者虐待・人権擁護の研修
通年	感染症の予防 誤嚥性肺炎の予防 褥瘡ゼロ コスト削減 ＢＣＰへの取り組み 生産性向上の取り組み 地域との交流・福祉会への参加 ノーリフトへの取り組み	【自立支援型介護の継続】 ケアプランに基づいた自立支援を促す 日常生活動作の活性化 利用者の楽しみづくり	【職員のスキルアップ】 研修会等への参加

看護部門

【総括】

令和 6 年度は、褥瘡が増えたことから、令和 7 年度は「褥瘡ゼロ！」をスローガンに各部署協働で褥瘡予防に努めてまいりましたが新たに 5 名の方が褥瘡形成しました。皮膚の観察や体位変換などの予防策が十分ではありませんでした。骨折、誤嚥など事故もあっており、今後は各種マニュアルの整備、リスクなど情報の共有、職員研修や OJT などによる知識や技術向上、専門職と連携しながら予防に努めてまいります。

感染症に関しては 4 月、9 月に新型コロナウイルス感染症が発生しましたが、他のフロアへの感染拡大は防ぐ事ができました。またレジオネラ菌の感染が確認されたため保健所の指導の下、浴室、浴槽などの清掃、職員への研修など行いました。今後も日常的な感染予防対策に加えて BCP（感染症）の研修や訓練、マニュアルの見直しを行ってまいります。

【事業報告】

1　実績報告

	目標	上半期	下半期
目標項目と数値指標	褥瘡発生	（目標）0 名 （実績）0～2 名	（目標）0 名 （実績）1～5 名
目標項目と数値指標	感染症発生	（目標）0 名 （実績）5 名	（目標）0 名 （実績）11 名

2　活動報告（年間行事・事業・サービスの品質・職員勉強会・研修）

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
4 月	「感染性胃腸炎」勉強会		
5 月			BCP（災害）訓練・研修
6 月	「疥癬」		
7 月		医療連携会議	BCP（感染症）訓練・研修
8 月	「頭シラミ」		
9 月			身体拘束・虐待防止
10 月	「インフルエンザ」		
11 月			BCP（災害）訓練・研修
12 月	「新型コロナウイルス」		
1 月		医療連携会議	BCP（感染症）訓練・研修
2 月	「レジオネラ菌」		
3 月			身体拘束 高齢者虐待・人権擁護研修
通年		協力医・専門職（PT/OT/歯科衛生士等）との随時連携 褥瘡計画書等の確認	医務室の手順書の確認と見直し（毎月） 喀痰吸引等のマニュアルの確認（隔月）

栄養・調理部門

【総括】

入所者の重度化に伴い、誤嚥や食事摂取量の減少、低栄養状態、食事形態等の食事面に関する健康面の低下もあったために、処遇検討会や給食会議、介護職や看護職と連携を図り利用者の食への充実を行ってまいります。

昨年２月より調理業務を委託業者に移行しました。『手作りのおいしさを再び』というスローガンの下、委託業者と協力しながら食事の提供を行って来ましたが、スタッフ不足もあり完調品での提供もあったため委託業者と連携を図りながら対応を行います。

【事業報告】

1、実績報告　クックサーブでの食事提供（手作りでの食事提供）

	上半期	下半期
目標	10 日/月	毎日
実績	4 月から 6 月は、毎日全品手作り。 7 月からは､完調品を使用した食事提供。	完調品を使用した食事提供

2、活動報告（年間行事・事業・サービスの品質・職員勉強会・研修）

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
4 月			
5 月		アルブミン値の確認	リスクマネジメント BCP（災害）の研修出席（30 日） 食中毒について給食会議で実施（30 日）
6 月			
7 月	期限により非常時の水（24 本）の入れ替え		認知症、BCP（感染症）研修出席（25 日）
8 月	期限により非常食（中華丼）の入れ替え（3 日）		
9 月	期限により非常食（カレー）入れ替え（1 日） 敬老の日､祝弁当提供(15 日)	嗜好調査実施、結果報告（デイ）	身体拘束プライバシー保護、コンプライアンスの研修出席（25 日）
10 月			
11 月		アルブミン値の確認	ハラスメント､BCP(災害)研修出席（27 日）

	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
12 月	非常時の水を使用の為、38 ケース入れ替え クリスマスメニュー		
1 月	おせちの提供（1 日）		BCP(感染症)、食中毒の研修出席（29 日） 食中毒について全体研修で実施（29 日）
2 月			
3 月		嗜好調査実施、結果報告（ホーム、ハウス）	身体拘束、高齢者虐待、人権擁護の研修出席（27 日）
通年	在庫、食数の管理 委託業者との連携	給食会議　・衛生管理 利用者の状態（体重・食種）確認 各部署のイベントへの対応	

居宅介護支援部門

【総括】

地域共生社会の実現に向けて、利用者が住み慣れた地域で安心して生活を継続できるように、利用者本位・自立支援を基本理念とした居宅サービス計画を作成し、サービス提供ができるように努めてまいりました。フォーマルサービスだけではなくインフォーマルサービスにも目を向け、公正中立的な立場から適切なサービス調整を行いました。また、質の高いケアマネジメントが提供できるように、医療・介護・地域資源との連携の強化、各種研修会への参加や勉強会を実施しました。

実績におきましては、新規利用者は獲得するものの、それ以上に利用者の入院や施設への入所などにより支援が終了してしまい、利用者が増えることなく目標数値を大きく下回りました。今後は質と量の向上を目指し、職員のスキルアップと生産性向上の視点からICT、AIの活用などの業務改善を行ってまいります。

【事業報告】

1　実績報告

1ヶ月の支援件数

	年　間	上半期	下半期
目　標	170件/月	170件/月	170件/月
実　績	129.7件/月 （うち予防7件）	132件/月 （うち予防7件）	127.5件/月 （うち予防7件）

2　活動報告（年間行事・事業・サービスの品質・職員勉強会・研修）

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
4月	BCP（災害）マニュアル見直し 訪問調査（3件）	ケアプランの軽微な変更について	住所地特例入所について
5月	BCP（災害）訓練・研修	支援経過記録ついて	虐待権利擁護について カスタマーハラスメントについて 居宅部会研修
6月	避難者名簿の見直し 圏域別地域ケア会議 生計困難者レスキュー事業（1件） 訪問調査（2件）		生活困窮者自立支援について
7月	支援センターだより夏号配布 出前講座（2地区） 100歳体操参加（1地区） 訪問調査（1件）	在宅アンケート実施	施設見学（桜十字宇城病院介護医療院）

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
8月		アンガーマネジメントについて	地域福祉権利擁護事業、成年後見人制度 居宅部会研修
9月	民生児童委員との連携（来所されパンフレット配布、意見交換）	運営指導チェックリスト確認 苦情解決第三者委員会へのアンケート結果報告	社会資源の活用について コンプライアンス、身体拘束、虐待防止について 高齢者の筋トレ
10月	生計困難者レスキュー事業対応（1件） BCP(感染症）マニュアルの見直し		ヤングケアラーについて 他法人との合同研修会準備、打ち合わせ
11月	運営指導 支援センターだより秋号配布 BCP（災害）訓練・研修 生計困難者レスキュー事業対応（1件）	適ケア（フレイル）について	他法人との合同研修会開催（済生会みすみ病院、豊洋園） 居宅部会研修
12月			聴覚障害のある方のコミュニケーションについて
1月	BCP（感染症）訓練・研修 訪問調査（1件）	モニタリングについて	生活困窮者勉強会、レスキュー事業について 施設見学（就労支援B型事業所明日香） 居宅部会研修
2月	宇城市集団指導 出前講座（1地区） 生計困難者レスキュー事業対応（1件）		難病ケアマネジメントについて
3月	支援センターだより春号配布 キャラバンメイトスキルアップ研修 訪問調査（2件）	令和8年臨時介護報酬改定について ケアマネのシャドーワークについて	虐待、身体拘束、プライバシー研修 高齢者の薬と副作用について
通年	行政、地域包括支援センター、医療機関、サービス事業所との連携(随時)	定例会議（週1回） 事例検討会（毎月1回） ケアマネジメントプロセス研修（随時） 各種マニュアル、業務手順書の見直し（年1回）	勉強会（週1回） 個人研修計画の実施 新人教育プログラム実施（3ヶ月、6ヶ月評価） 研修参加、復命報告（随時）

通所介護部門

【総括】

「笑顔と信頼が生む安心の時間」をスローガンとし、利用者、家族との信頼関係を大切にしてサービスを提供しました。季節感のある行事、料理教室やレクリエーションなど実施し利用者の QOL 向上に努めました。機能訓練におきましては外部の PT の指導を受けながら運動プラグラム作成、体力や機能の評価を行い利用者の自立支援につながるよう取り組んでまいりました。

この期間、基準値を超えたレジオネラ菌が確認されたため、デイルームの浴室の使用を中止し、ケアハウス、特養の浴室を使用して入浴を行い、利用者には迷惑をかける事となりました。現在は陰性が確認できており、今後も浴室、浴槽の清掃や塩素濃度などの管理、職員教育を行い再発予防に取り組んでおります。

実績におきましては利用者の新規が 14 名、支援終了が 23 名と支援終了が新規を大きく上回り目標の数値には届きませんでした。地域や居宅介護支援事業所、包括支援センターなど関係機関への PR に加えて、サービスの質を向上し実績回復に努めます。また令和 8 年度は新たな加算算定のため体制を整えてまいります。

【事業報告】

1　事業報告

	目標	上半期	下半期
目標項目と数値指標	安定した利用者の確保 一日平均	（目標）28 名 （実績）22.3 名	（目標）28 名 （実績）21.7 名

2 活動報告（年間行事・事業・サービスの品質・職員勉強会・研修）

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
4 月	宇城市包括と各居宅事業所へ空き状況の説明	花見 クレープ作り	BCP マニュアルの確認、見直し
5 月	宇城市総合事業連携会議	バラ見物 どら焼き作り	BCP（災害）訓練・研修 リスクマネジメント研修
6 月	宇城市包括と各居宅事業所へ空き状況の説明	アジサイ見物	新入職員オリエンテーション・一カ月面談
7 月	大見地区の百歳体操・福祉会（御領、西）・宇城市包括と各居宅事業所へ空き状況の説明	かき氷・在宅アンケート配布・外部 PT の体力測定指導	BCP（感染）訓練、研修・LIFE への入力（科学的介護・個別機能訓練・生活機能）・福祉部会・苑内研修（レジオネラ、認知症）・新入職員オリエンテーション 2 名
8 月	宇城市包括と各居宅事業所へ空き状況の説明	スイカ割り・アンケートの回収、集計	福祉部会・カスハラ研修

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
9月	民生委員の方がデイサービスを見学・宇城市包括と各居宅事業所へ空き状況の説明	敬老会	苑内研修（身体拘束・虐待防止、コンプライアンス)、地域リハビリ研修
10月	宇城市包括と各居宅事業所へ空き状況の説明とパンフレット、チラシ配布	コスモス見物 饅頭作り	消防訓練・LIFEへの入力（科学的介護・個別機能訓練・生活機能)・ノイエ褥瘡研修・新入職員3か月後面談
11月	宇城市包括と各居宅事業所へ空き状況の説明	紅葉見物 ぼたもち作り	BCP(感染症)訓練・研修、手指衛生研修・ハラスメント研修
12月	宇城市包括と各居宅事業所へ空き状況の説明	クリスマス会	全国老施協大会へ参加・新入職員オリエンテーション
1月	宇城市包括と各居宅事業所へ空き状況の説明とパンフレット、チラシ配布	初詣 ぜんざい会	BCP(感染症)訓練・研修・LIFEへの入力（科学的介護・個別機能訓練・生活機能)・リスクマネジメント、食中毒、プライバシー保護研修
2月	宇城市包括と各居宅事業所へ空き状況の説明	節分まめまき・いきなり団子作り	BCP マニュアルの見直し・新入職員1か月後面談
3月	宇城市包括と各居宅事業所へ空き状況の説明	貼り絵・いも饅頭作り	身体拘束、人権擁護、虐待防止、プライバシー保護研修・新入職員3か月面談
通年	包括や居宅事業所との連携	レク活動 LIFEの活用	外部研修

ケアハウス部門

【総括】

入居者が安心・安全に生活できる住まいを提供し、自立した生活の継続に向けて支援してきました。空室ゼロを目標に、退居者が出た後も速やかに入居調整を行いました。年間を通じ部屋は埋まっているものの、２人部屋に１人で住まれるケースが増え入居者の数自体は減少しました。２人での入居希望者が少なく、2 人部屋の課題解決も含めて地域や関係機関との連携を強化し入居待機者を確保してまいります。

入居者満足度向上を目的として行事、イベントを開催しました。今後も懇談会やミニ茶話会などを活用し入居者の声に耳を傾けながら利用者が満足できるような行事、イベントを開催し QOL 向上に努めてまいります。職員研修においても各種研修会への参加を通じて知識・技術の向上に努めました。

【事業報告】

１　実績報告

	年間	上半期	下半期
目　標	空室 0	空室 0	空室 0
実　績	満室	満室	満室

２　活動報告（年間行事・サービスの品質・職員研修・勉強会）

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
4 月	パンフレット 10 部配布	足手荒神※コロナで中止	
5 月		外食ツアー※コロナで中止	リスクマネジメント、BCP 災害の研修
6 月	パンフレット見直し	運動会　17 名参加 紫陽花見学　3 名 のど自慢大会　12 名	
7 月	地域福祉会へ参加（2 回） パンフレット 50 部配布	外食ツアー（こんぴら丸） 12 名	認知症、BCP 感染症研修 アンガーマネジメント研修
8 月		納涼祭　かき氷	
9 月	民生委員の施設見学 25 名受け入れ パンフ 25 部、10 部配布 災害、感染症マニュアルの見直し	敬老会　14 名 外食ツアー（道の駅宇土） 10 名	身体拘束、高齢者虐待防止、コンプライアンス研修
10 月			
11 月	パンフレット 10 部配布	外食ツアー（漁火） 12 名	ハラスメント、BCP 災害 ケアハウス部会セミナー

月	事　　業	サービスの品質	職員勉強会・研修等
12月		クリスマス会　15名 餅つき　13名	
1月	パンフレット20部配布	初詣　2名 どんどや　3名	食中毒、BCP感染症研修
2月	パンフレット10部配布	節分豆まき　15名	
3月		粟島神社参拝　5名	プライバシー保護、人権擁護、虐待防止、身体拘束の研修。カスハラ研修
通年	待機者の情報共有。R7.4月4名、R8.3月19名。 入居判定委員会（適宜）	健康体操、健康教室（隔月）懇談会、ミニ茶話会、ケース検討会、満足度調査アンケート、第三者委員会への報告	復命報告（適宜）